

折尾地区総合整備事業における2号街区公園整備に向けた マーケットサウンディングの実施について

—「ねじりまんぼ」の保全・活用と、魅力的な空間の創出を目指して—

オリオ Xcite を掲げ、住みやすく魅力的で、にぎわいのあるまちづくりを進めている折尾地区では、駅南側の土地区画整理事業地内において、2号街区公園の整備を予定している。

本公園内には「ねじりまんぼ」と呼ばれる特殊な構造の「旧西日本鉄道折尾高架橋（以下「高架橋」という。）」が所在しており、平成20年に地元自治会や折尾商連などで構成される「おりお未来21協議会」、平成22年に土木学会など5団体から、この高架橋の保全・活用について要望を受け、これまで、保全・活用に向けた調査や耐震性の検討など実施してきた。

今回、高架橋（ねじりまんぼ）を活かした魅力ある公園づくりに向け、Park-PFI 制度の活用を視野に「マーケットサウンディング」を実施するもの。

1 マーケットサウンディングの概要

(1) 実施目的

2号街区公園は駅前広場に接する利便性の極めて高い立地にあり、都市のうるおいや地域の憩いの場に加え、「駅前の公共空間」として、滞留・休息機能やイベント・賑わい創出拠点としての役割が期待される。

このため、「Park-PFI 制度」活用を視野に高架橋の保全・活用策や便益施設の設置、事業性など広く意見を徴収し、持続可能な公園運営の枠組みを構築するもの。

(2) 実施期間

令和8年10月 ～ 令和9年3月

(3) 主な条件(Park-PFI 制度の活用)

①検討内容：

- 公園全体(特定公園施設 A=約 1,500 m²)の設計・整備。
- 便益施設(公募対象公園施設:最大約 180 m²)の設計・整備・管理運営。
- 公園全体の日常管理(清掃等)は、事業者の費用負担による。

②事業期間：最大20年間

③高架橋の取り扱い：

- アーチ内を便益施設として活用する場合、5年に1度の法定点検(目視点検)が可能な構造とすること。
- 市による事前措置として、補修および耐震補強工事を実施予定。

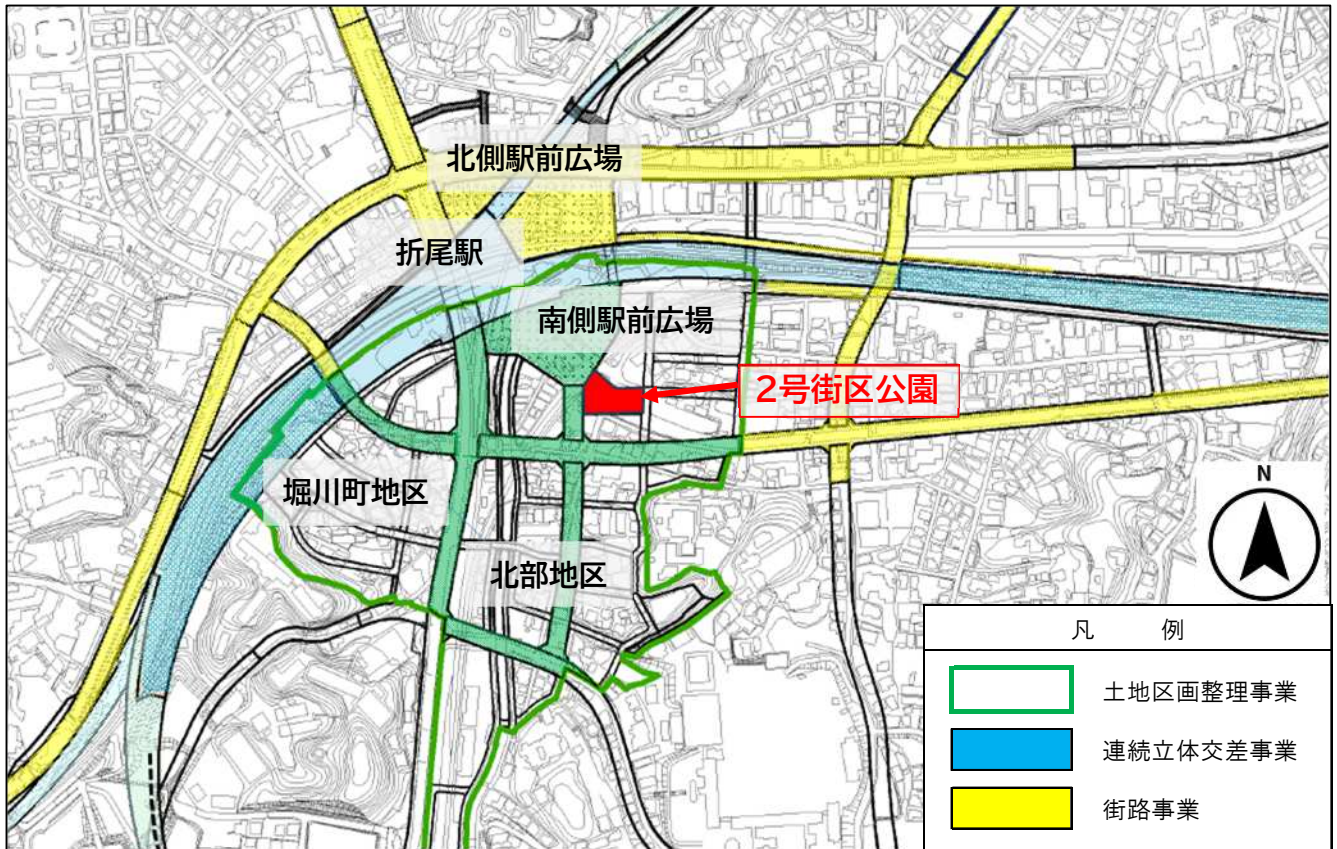
2 今後のスケジュール(予定)

令和8年度：マーケットサウンディングの実施

令和9年度：Park-PFI 公募・事業者決定、実施設計(民)、高架橋補修補強工事(市)

令和10年度：公園全体の整備・便益施設の整備(民)、供用開始

2号街区公園 位置図

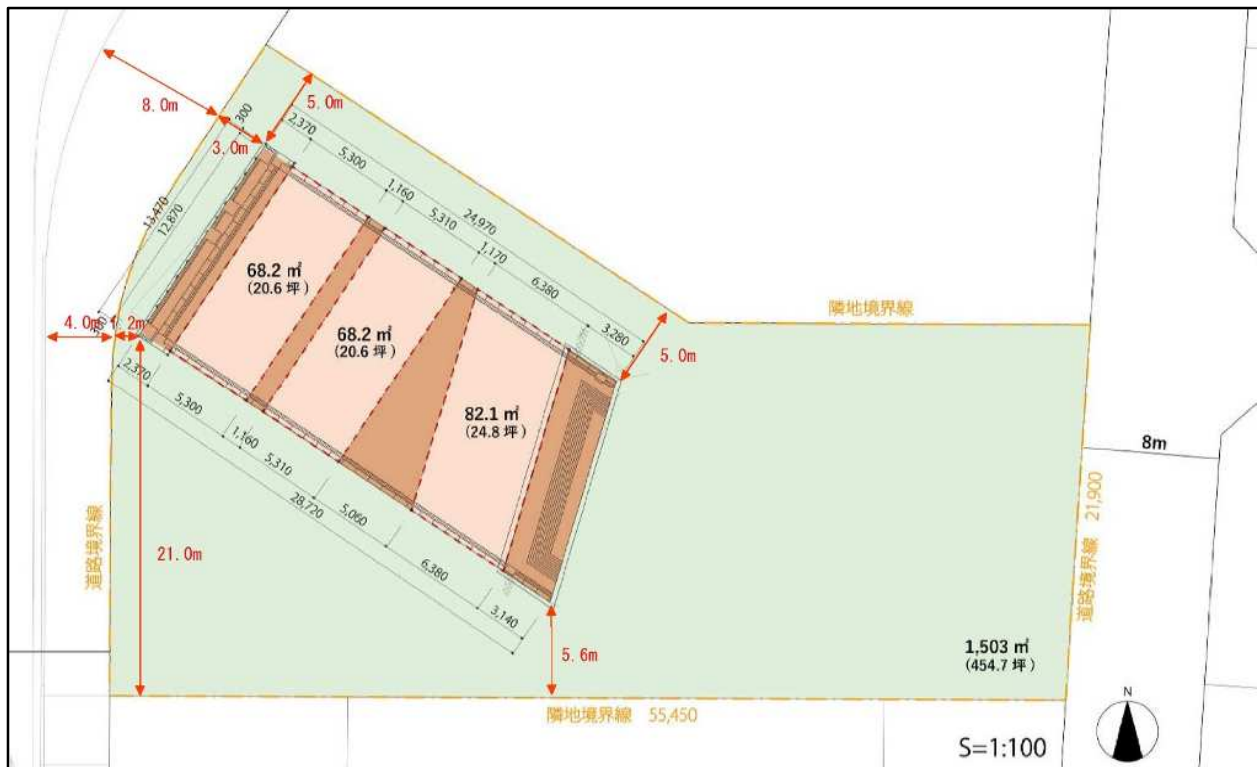


旧西日本鉄道折尾高架橋(ねじりまんぼ)の状況写真



【概要】 大正3年に九州電気軌道(株)(現・西日本鉄道(株))が建設した煉瓦造りの3連アーチ橋。第3径間のアーチ部が「ねじりまんぼ」と呼ばれる特殊な構造で、国内に現存するもののなかで最大級の径間(6.1m)を有する、貴重な土木構造物といわれている。

2号街区公園 計画平面図



2号街区公園 Park-PFI 制度を活用した整備イメージ

